

大船渡市末崎町について

岩手県大船渡市の最南端に位置し、養殖ワカメ発祥の地であるなど、漁業が盛んな町です。穴通磯をはじめとするリアス式海岸の名勝・基石海岸は、三陸復興国立公園に属しています。

2011年の東日本大震災では約750戸が被災し、町内の5カ所に計313戸の仮設住宅が建設されました。2015年末時点での人口は約4,300人。75歳以上の人口は19.7%で、日本全国の12.5%を大きく上回るなど、少子高齢化が進んでいます。

「居場所ハウス」は地区公民館、医院、保育園、小学校、中学校など町内の主要施設の集まる中央位置に位置しており、周囲には災害公営住宅と防災集団移転による戸建て住宅、合わせて約100戸が建設されました。

オープンの経緯

「居場所ハウス」は、東日本大震災後、ワシントンDCの非営利法人「Ibasho」の呼びかけがきっかけとなり、地域復興の拠点とするため、高齢者の地域での暮らしを大切にするために開かれました。

建物はアメリカの空調設備関連の企業「ハネウェル社」社員の方々による支援基金を受け、陸前高田市気仙町の古民家を移築・再生したものです。

オープンまでに「Ibasho」の理念を共有したり、運営に対するアイディアを出し合ったりするための末崎町民が参加するワークショップが重ねられました。

オープン後の運営は、末崎町民を中心として新たに設立されたNPO法人・居場所創造プロジェクトが担っています。

地域住民中心の運営

「居場所ハウス」は、NPO法人・居場所創造プロジェクトが運営しています。NPO法人の理事、及び、日々の運営を担うのは末崎町の高齢世代のメンバーが中心です。

メンバーは各種行事の企画・運営、食堂での調理、花や植木の手入れ、農園での農作業、建物の修繕、朝市の運営、チラシ作成、会計など、それぞれが得意なこと、できることを分担することで「居場所ハウス」の運営を支えています。2013年6月のオープンから毎月欠かさず運営のための定例会を開催しており、メンバー間で情報共有したり、運営の方向性などを議論したりしています。また、学校教員や保母の経験のあるメンバーが「わらしこ見守り広場」というグループを立ち上げ、保育園や小学校の子どもたちを見守る体制も整えています。

「居場所ハウス」の周囲には店舗や飲食店がほとんどないという状況をふまえ、2014年10月からは毎月の朝市を、2015年5月からは食堂の運営をスタートさせるなど、震災後の憩いの場所づくりにとどまらず、より良い地域の実現を目指した活動を展開しています。

Ibasho の理念

「居場所ハウス」はワシントンDCの非営利法人「Ibasho」が掲げる8理念にもとづいて運営しています。

- 高齢者が知恵と経験を活かすこと (Elder Wisdom)
- あくまでも「ふつう」を実現すること (Normalcy)
- 地域の人たちがオーナーになること (Community Ownership)
- 地域の文化や伝統の魅力を発見すること (Culturally Appropriate)
- 様々な経歴・能力をもつ人たちが力を発揮できること (De-marginalization)
- あらゆる世代がつながりながら学び合うこと (Multi-generational)
- ずっと続いていくこと (Resilience)

古民家



地域住民



Ibasho の理念



居場所ハウス沿革

- 2011年 3月11日：東日本大震災
3月17日：ワシントンDCの非営利法人「Ibasho」が被災地支援を提案
- 2012年 1月12日：「Ibasho」の提案が、国際NGO・Operation USAの被災地支援プロジェクトとして認可
5月14日：最初のワークショップを開催。以降、2013年5月8日までの間に計6回のワークショップを開催。ワークショップには末崎町民らも参加
9月15日：NPO法人・居場所創造プロジェクトの設立総会を開催。運営する場所の名称が「居場所ハウス」に決定
10月16日：地域説明会を開催
- 2013年 3月8日：NPO法人・居場所創造プロジェクトが設立
6月13日：「居場所ハウス」オープン
6月29日：最初の運営会議を開催（以後、定例会として毎月欠かさずで開催）
11月24日：「居場所感謝祭」を開催
- 2014年 5月23日：この日に開催されたNPO法人総会で、末崎町の6人が新たに理事に就任することが承認
7月13日：「一周年記念感謝祭」を開催（以後、毎年6～7月に周年記念感謝祭を開催）
8月24日：「居場所農園」での作業を始める。収穫した野菜は朝市での販売、昼食の食材などに利用
10月25日：最初の朝市を開催（以後、毎月欠かさずで開催）
- 2015年 3月18日：仙台市で開催された第3回国連防災世界会議のシンポジウムで活動を報告
5月3日：「子どもの日・鯉のぼり祭り」にあわせて、新築したキッチンで食堂の運営を開始
- 2016年 4月6日：「居場所ハウス」周辺に高台移転した被災者らとの歓迎交流会を開催

会員募集

「居場所ハウス」の運営を継続するため賛助会員になっていただける個人や団体の方々、寄付をいただける個人や団体の方々を広く募集しております。いただいた賛助会員年会費・寄付金は「居場所ハウス」の運営、「居場所ハウス」を通じたより良い地域づくりのために大切に使用させていただきます。ご協力よろしくお願い申し上げます。

●賛助会員の年会費

賛助会員（個人） 1口 2,500円 1口以上
賛助会員（団体） 1口 10,000円 1口以上
※年会費の有効期間：4月1日から翌年3月31日まで。初年度は入会日から翌年3月31日までとさせていただきます。

●振込方法

賛助会員年会費・寄付金は「居場所ハウス」に直接ご持参いただくか、以下の口座への振込をお願いします。恐縮ですが振込手数料は振込者様のご負担とさせていただきます。

○ゆうちょ銀行ご利用の場合

口座記号・番号：02280-7-115147
口座名義：特定非営利活動法人居場所創造プロジェクト
口座名義（カナ）：トクヒ イバシヨソウゾウプロジェクト

○他の金融機関ご利用の場合

銀行名：ゆうちょ銀行
支店名：二二九（ニニキュウ）支店
預金種目：当座預金
口座番号：0115147
口座名義：特定非営利活動法人居場所創造プロジェクト
口座名義（カナ）：トクヒ イバシヨソウゾウプロジェクト

詳細は「居場所ハウス」までお問い合わせください。



このパンフレットは「ジャパンプラットフォーム『共に生きる』ファンド」の助成を受け制作しました。